

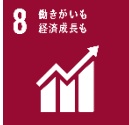
SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

大田区長 殿

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

< 宣言日 > 2025 年 10 月 23 日

事業者情報					
事業者名	村石建工株式会社				
代表者 職・氏名	職名 代表取締役				
	氏名 村石 玲王奈				
ホームページ URL (任意)	https://murakenn.co.jp/				
事業者ロゴ (任意)	 村石建工株式会社				
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
地域社会のインフラを支える事業そのものが SDGs 実現に直結すると捉え、地域の安心・安全・持続可能なまちを、技術と人の力で支える会社を目指します。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
1 貧困をなくそう  ○	2 飢餓をゼロに  ○	3 すべての人に健康と福祉を  ○	4 質の高い教育をみんなに  ○	5 ジェンダー平等を実現しよう  ○	6 安全な水とトイレを世界中に  ○

					
	○	○		○	
					
○	○			●	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等

分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDG s ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	✓	【メイン】 8 【サブ】 4、16	当社を取り巻く建設業界は、人手不足が大きな経営課題である。特に経験者や技術者の絶対数が少ないため採用が非常に困難であり、未経験、異業種からの人材採用を積極的に行う必要がある。そういった人材の早期戦力化は採用と並んで喫緊の課題であり、外部機関が行う新人研修への参加や、講師を招いた情報セキュリティやコンプライアンスの研修を行い、実務だけではなく社員の知識向上やスキルアップに努めていく。
	社会	□		
	環境	□		
②	経済	□	【メイン】 12 【サブ】 7、11	当社単体での取り組みは困難であるが、地域のプロバスケットボールチームであるアースフレンズ東京Zの協力を得て、フードドライブ企画に参画する。不要になった食料品を集め、ホームゲームの際にブース出展を行い、社会福祉協議会を通じてこども食堂への寄付を行う。地域コミュニティの活性化の一助、食料品廃棄物の削減効果が期待できる。
	社会	✓		
	環境	□		
③	経済	✓	【メイン】 9 【サブ】 11	当社は 2002 年から都内の下水道管渠の耐震化工事を受注、施工している。区内での施工実績も多く、これは大規模地震発生時の下水道機能を確保すると共に、緊急車両の通行を始めとした交通支障の発生を防ぐ強靱なインフラ構築の一環である。また、当社が加入している一般社団法人東京建設業協会、大田建設協会といった業界団体を介して、災害時における応急対策業務に関する協定を結んでおり、応急活動に従事する体制がある。
	社会	□		
	環境	□		

進捗報告			
	進捗状況（１年目）	進捗状況（２年目）	進捗状況（３年目）
①	異業種からの中途採用社員の教育と資格取得を兼ね、外部の資格取得講座の受講を実施。また、製図ソフトである AutoCAD ソフトのアカウントを追加導入し、社内勉強会を用いて知識の共有を行い、組織全体の技術力向上に取り組んでいる。		
②	重点施策の一つとして、バスケットボールチームが実施するフードドライブ企画に参画した。当日の取り組みの様子は、チームおよび当社の SNS にて発信し、地域の皆様への認知向上と社会貢献活動の周知に努めた。		
③	下水道管路の耐震化工事に対応するため、施工管理を担う技術者の育成を目的として、講習会へ新たに２名が受講する運びとなった。これにより、専門的な知識・技術の習得を通じて、施工体制のさらなる強化および拡充を図っていく。		